



* 給食だより *

令和5年1月第103号
大東市教育委員会
学校管理課
TEL 870-9102



小学校で有名な
大東市の食育
キャラクターの
トマッピーです

新年あけましておめでとうございます。この1年を充実させるためには新年を迎えた今、目標を決めて進んでいけるといいですね。さて、1月は『全国学校給食週間』があります。学校給食の歴史を知り、毎日の学校給食の役割について理解を深めましょう。

1月24日～1月30日は「全国学校給食週間」です

学校給食の歴史の巻

学校給食の歴史は、明治22年、山形県鶴岡市の忠愛(ちゅうあい)小学校で、お弁当を持って行くことのできない児童を対象に、昼食(おにぎり・焼き魚・漬け物)を出したのが始まりです。その後、給食は全国に広まりましたが、第二次世界大戦が激しくなると給食は中止になり、食べるものが不足したため、たくさん子どもたちが苦しみました。戦後も食糧難は続き、子どもの栄養不足が心配されました。「ララ(アジア救済団体)」から脱脂粉乳が寄贈されると、昭和21(1946)年12月24日から東京、神奈川、千葉で学校給食が再び始まり、この日が給食記念日となりました。ただし12月24日が冬休みに入るため、1ヵ月後の1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」としたのです。子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満など懸念される問題も見られる今日、「学校給食」は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康的で心豊かな食生活を送るために、とても重要な役割を果たしています。



鶴岡市のお寺「大督寺」

忠愛小学校は、大督寺の境内にありました。このお寺のお坊さんが、一軒一軒お経を唱えながら民家を回り、お米やお金をいただき、弁当を持ってこれない子どもたちに昼食を作りました。現在の住職の話によると、その当時の昼食の魚は、川魚が主流だったそうです。



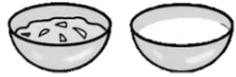
大督寺敷地内にある「学校給食発祥の地」の記念碑

昭和34年(1959)に、学校給食70周年記念式典開催され、記念碑が建立されました。

学校給食の移り変わり

昭和22(1947)年1月

戦後すぐの給食は、アメリカからの支援物資である脱脂粉乳と、脱脂粉乳と缶詰で作ったシチューなどが提供された。



- ・脱脂粉乳
- ・トマトシチュー

昭和27(1952)年

肉は手に入らないため、主に鯨肉がたんぱく源として提供された。



- ・脱脂粉乳
- ・鯨の竜田揚げ
- ・コッペパン
- ・サラダなど

昭和52(1977)年

米を使った学校給食が始まる。



- ・牛乳
- ・カレーライス
- ・果物
- ・サラダなど

完全給食と呼ばれる現在の給食の形になる



トマッピー4コマ劇場



たくさんのご応募ありがとうございます。ご応募いただいた素敵な作品を順番にご紹介します。



4-panel comic strip featuring Tommy and vegetables. Panel 1: Tommy asks about nutrition. Panel 2: Vegetables explain their benefits. Panel 3: Tommy is surprised by the importance of nutrition. Panel 4: Tommy promises to eat everything.